

2026年3月期 第2四半期 決算説明会 (2025年4月～2025年9月)

2025年11月28日
新東工業株式会社

当決算におけるポイント

2026年3月期
2Q実績

- 売上高増も、利益は欧州地域の販売減少、原価率上昇等により2Q計画を未達。

2026年3月期
通期予想

- 売上、利益ともに前年比増加の見込み。

成長戦略

- 事業領域「素材に形をいのちを」の展開
 - ・ 形づくり「3Dプリンティングによるセラミック事業展開」
 - ・ 表面づくり「レーザー加工」の取り組み

株主還元

- 年間配当は昨年と同額予定(44円)。
- DOE目標2.0%以上を堅持。

目次

01

第2四半期の概況と通期の見通し

02

成長戦略

03

投資・配当情報

目次

01

第2四半期の概況と通期の見通し

02

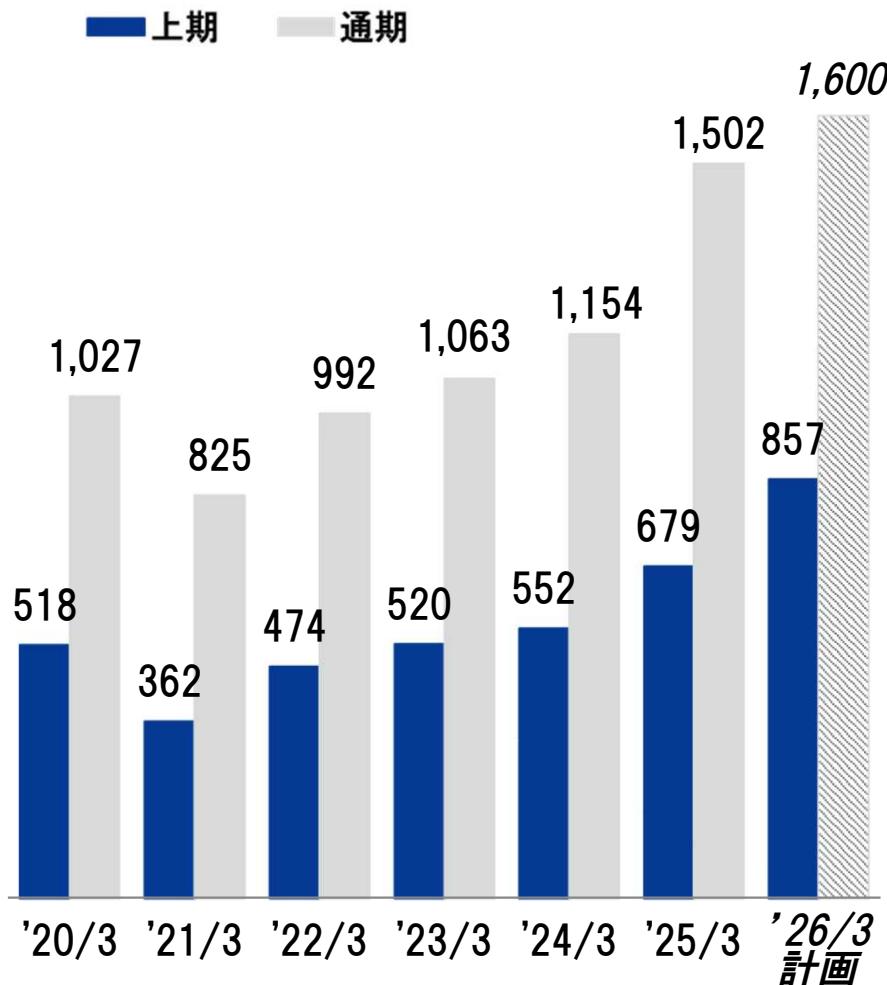
成長戦略

03

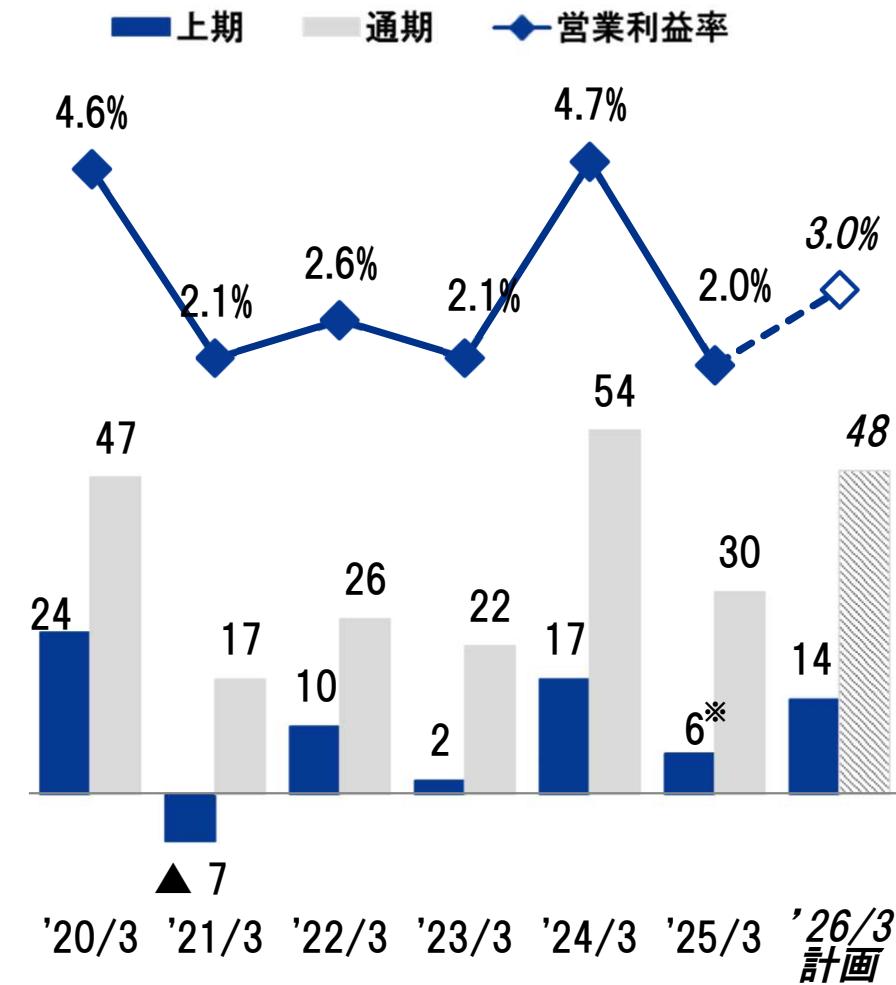
投資・配当情報

売上高・営業利益

売上高(単位:億円)

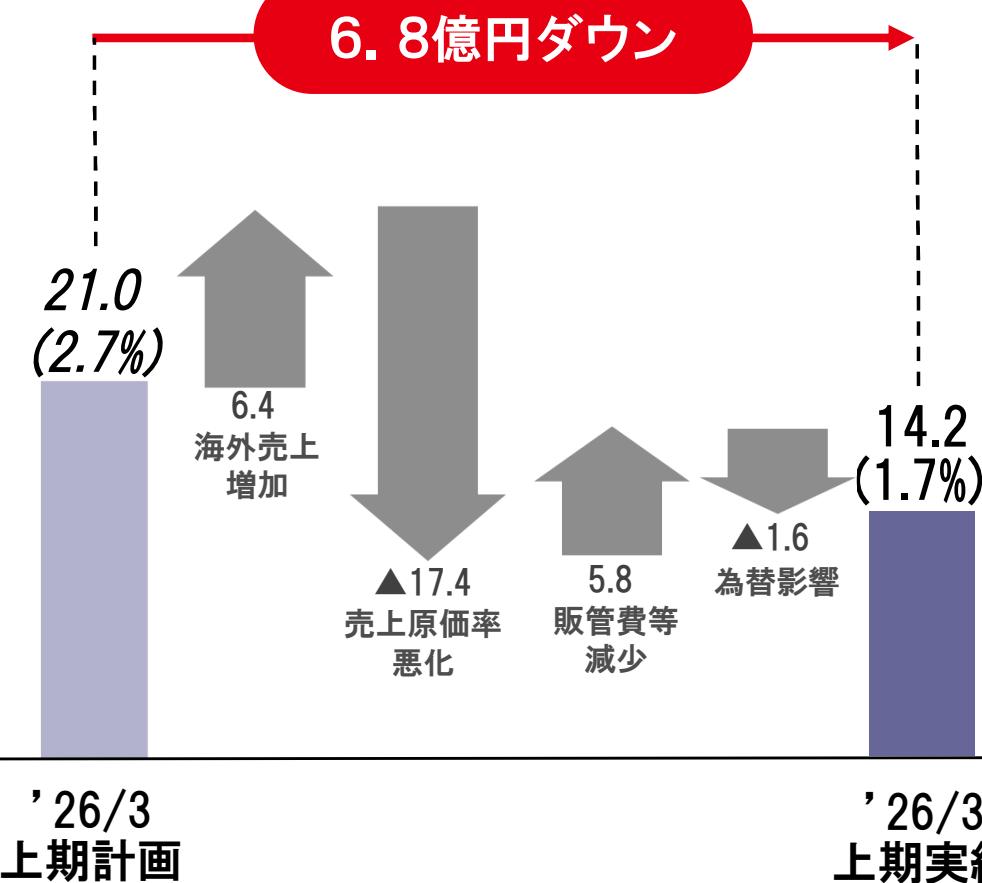


営業利益(単位:億円)

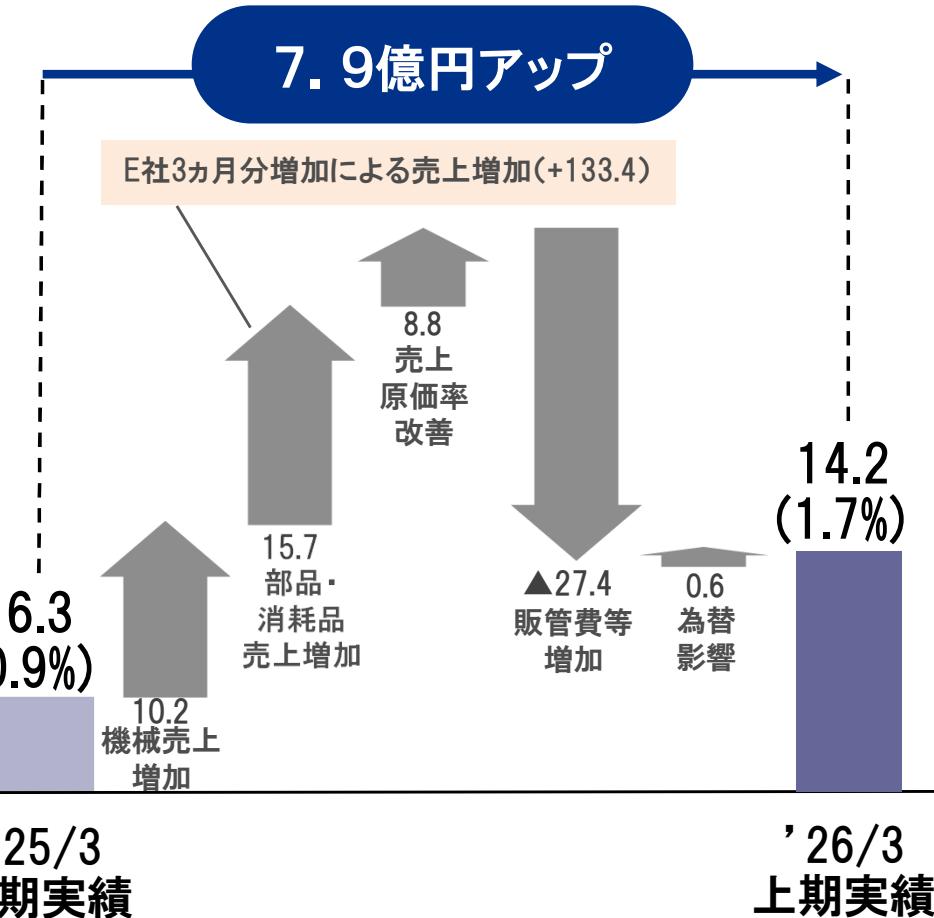


営業利益 差異要因

計画比(単位:億円)

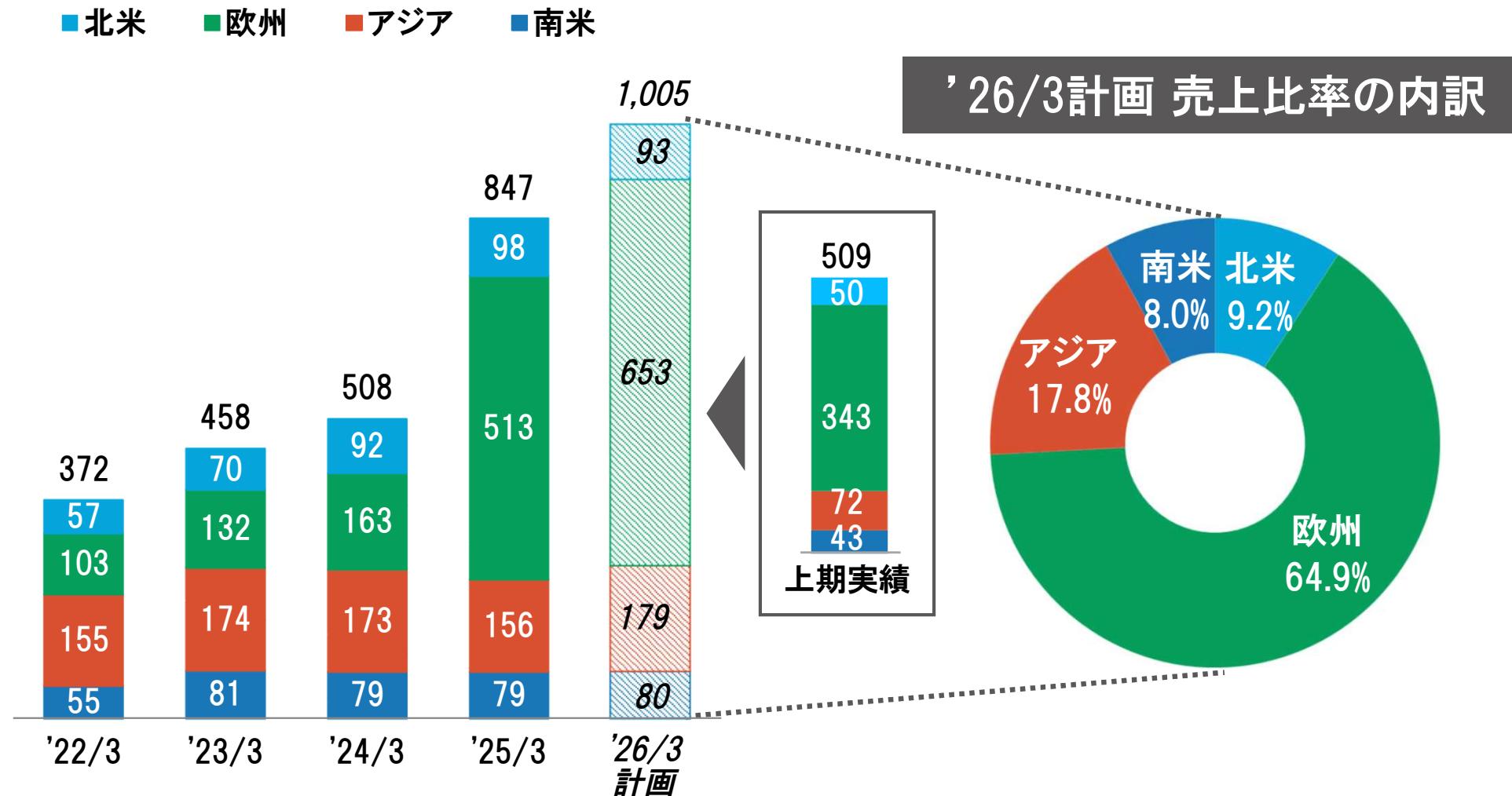


対前年同期比(単位:億円)



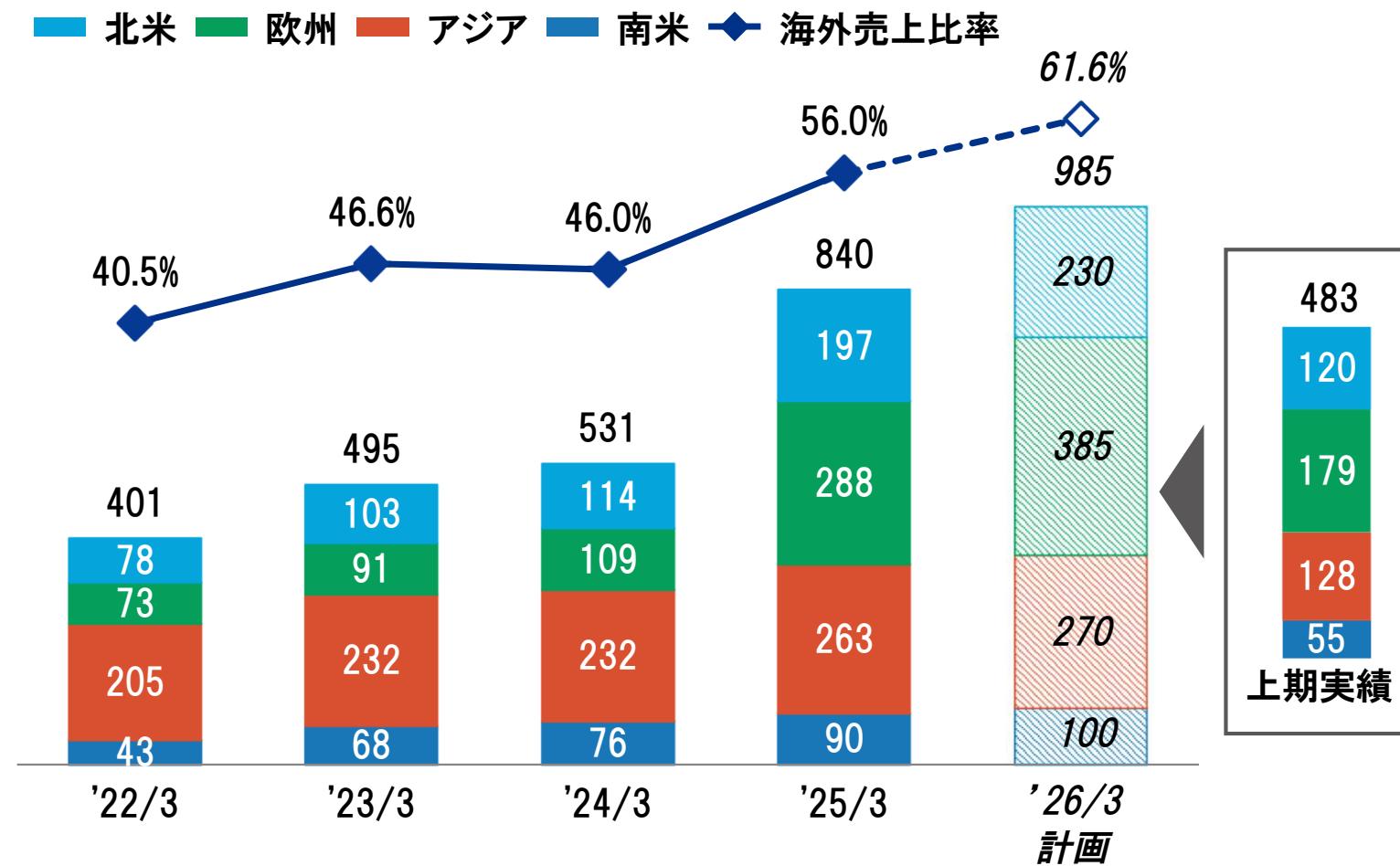
海外所在地別 売上高

海外所在地別 売上高(単位:億円)



海外納入地域別 売上高

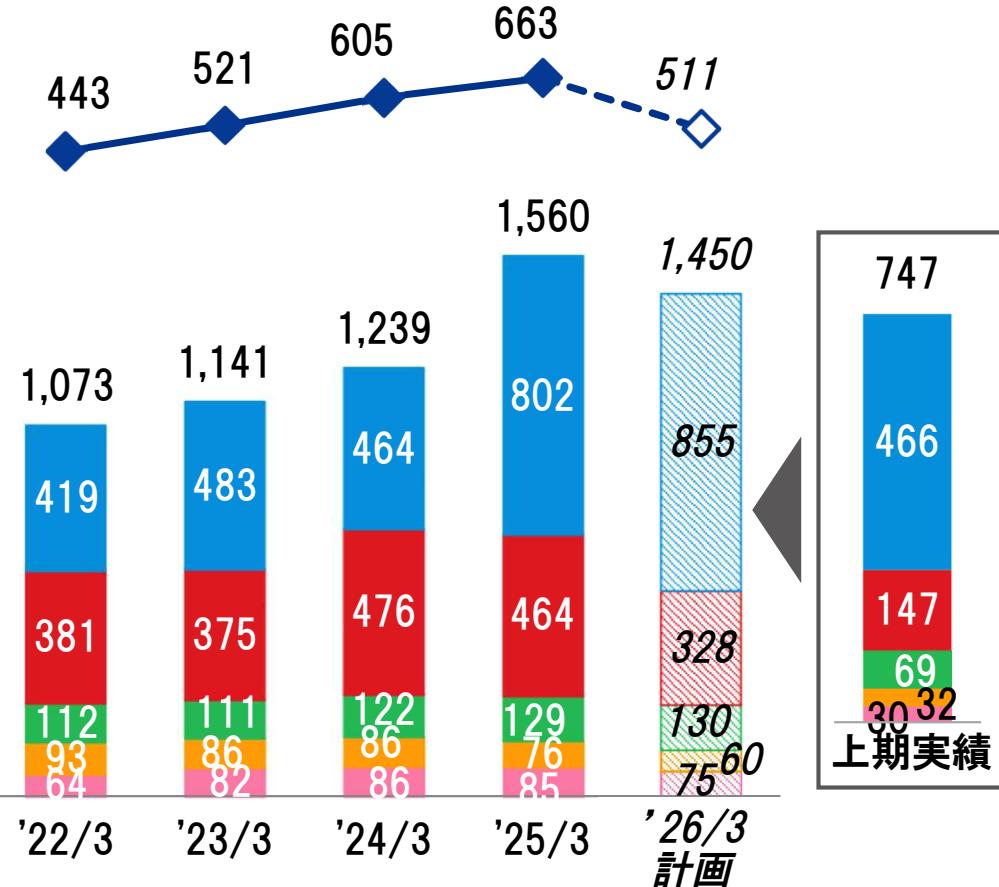
海外納入地域別 売上高(単位:億円)



受注高・受注残高

受注高・受注残高(単位:億円)

■ 表面処理 ■ 鋳造 ■ 環境
 ■ 特機 ■ 搬送 ■ 受注残高



受注残高 内訳(単位:億円)

	'25/3	'25/9	'26/3 計画
表面処理	111	106	117
鋳造	401	305	250
環境	69	79	79
特機	41	38	23
搬送	38	24	37
合計	663	554	511

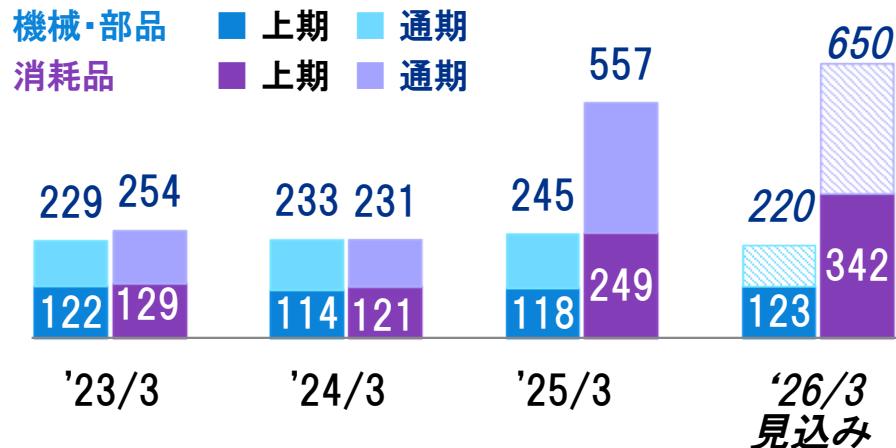
セグメント別の状況（まとめ）

（単位：億円）

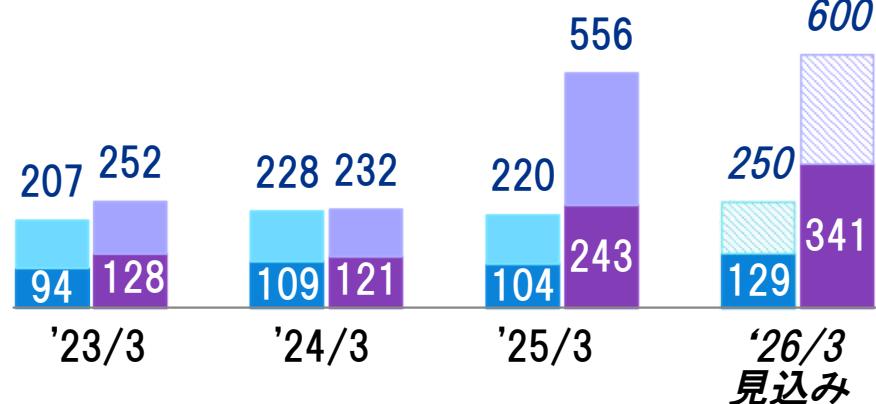
		'25/3上期 実績	'26/3上期 実績	増減	増減率
全体	売上高	679	857	177	26.1%
	営業利益	6	14	7	125.9%
	営業利益率	0.9%	1.7%	0.8%	88.9%
		'25/3上期 実績	'26/3上期 実績	増減	増減率
表面処理	売上高	347	471	124	35.7%
	営業利益	▲2	6	9	—
	営業利益率	▲0.7%	1.5%	2.1%	—
鋳造	売上高	200	247	46	23.4%
	営業利益	2	5	3	120.7%
	営業利益率	1.3%	2.3%	1.0%	78.8%
環境	売上高	51	60	9	18.0%
	営業利益	5	6	1	24.1%
	営業利益率	10.6%	11.2%	0.6%	5.1%
特機	売上高	41	37	▲4	▲11.6%
	営業利益	▲0.2	▲5	▲5	—
	営業利益率	▲0.5%	▲14.2%	▲13.6%	—
搬送	売上高	43	45	1	4.5%
	営業利益	5	4	▲0.8	—
	営業利益率	13.0%	10.5%	▲2.5%	—

【表面処理事業】 sinto SURFACE TECMART

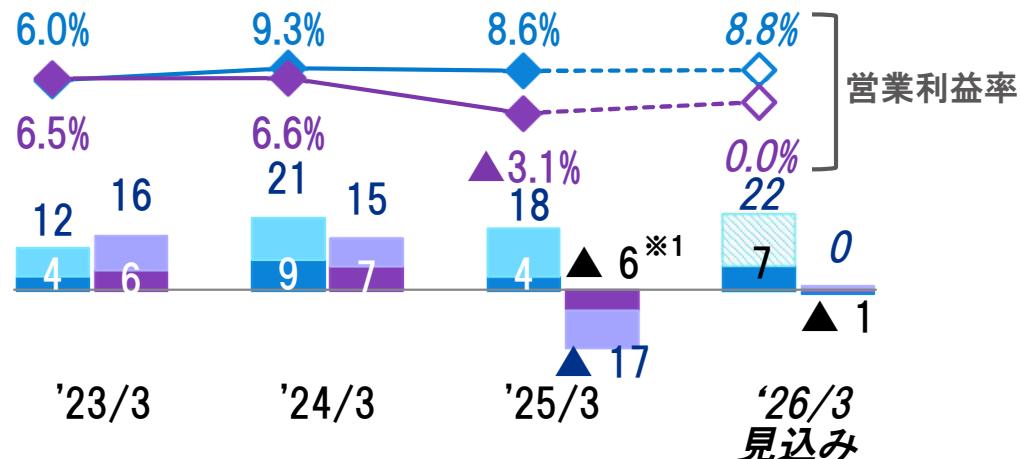
受注高(単位:億円)



売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



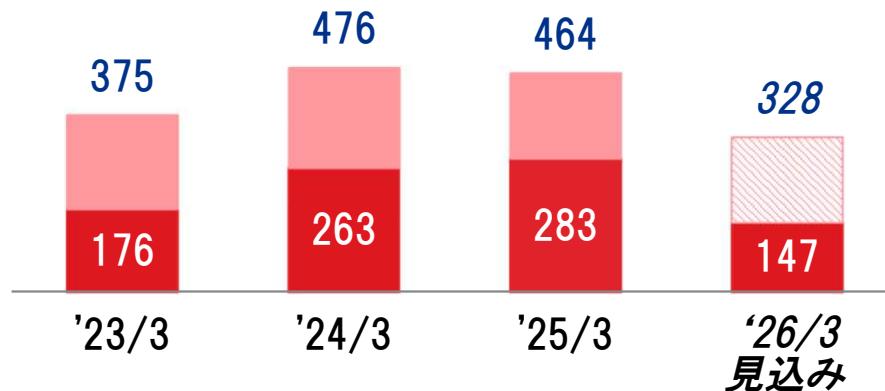
第2四半期のポイント

- 【機械・部品】建設機械分野や製鉄分野向けの大型案件の機械装置等の販売が寄与し、売上増。加えて、電子分野も伸長。
- 【消耗品】Elastikos社の子会社化に伴い売上増加の一方、欧州の自動車業界の低迷により減益。

【鋳造事業】 sinto FOUNDRY INTEGRATION

受注高(単位:億円)

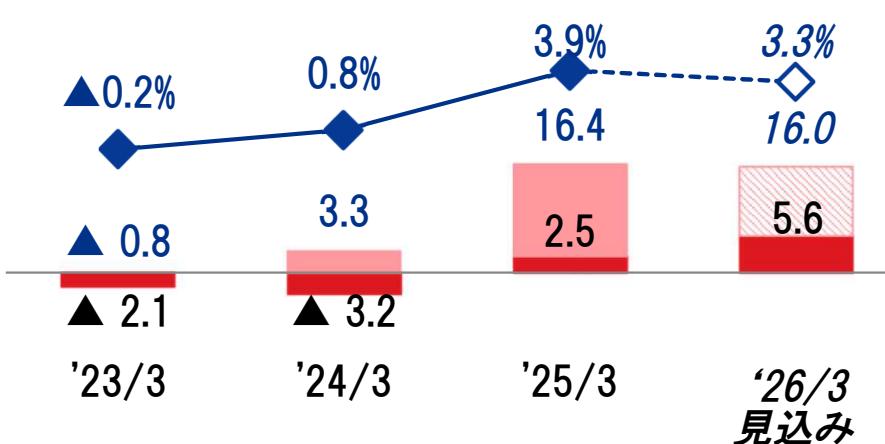
■ 上期 ■ 通期



売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



第2四半期のポイント

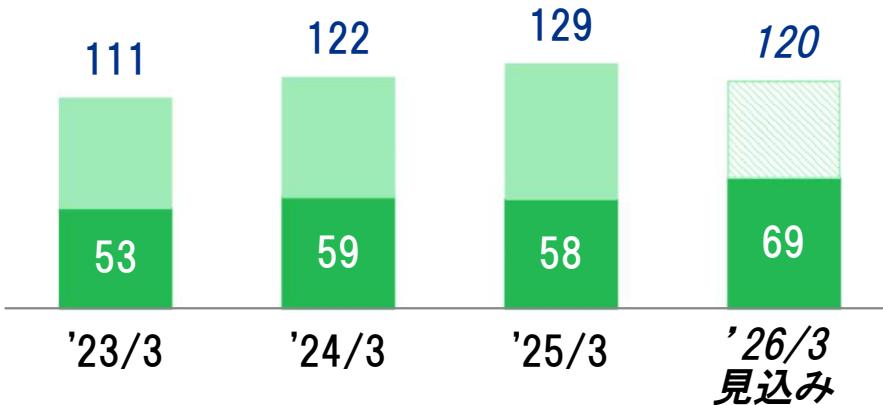
- 国内では、大型プラント設備の製作・現地工事が順調に進み、海外では造型設備の増加等により増収。
- 原材料費・エネルギー費や運賃の高止まり状況の一方、原価低減活動の効果が表れ、増益。
- 関税問題、中国の景気後退による設備投資先送りの影響で受注減。

（環境事業）

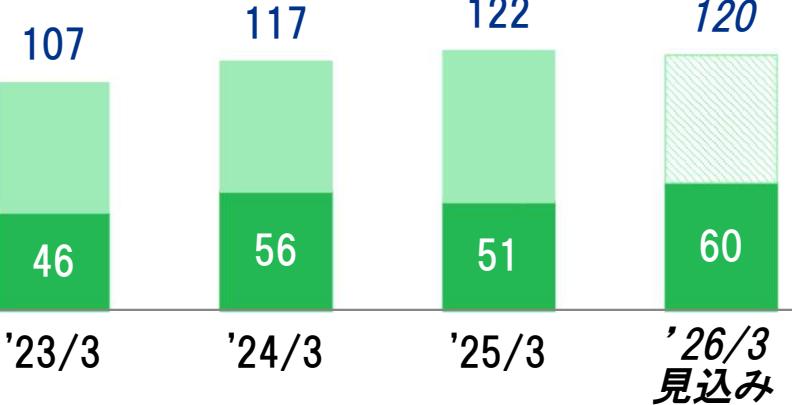
sinto WELLNESS CREATION

受注高(単位:億円)

■ 上期 ■ 通期



売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



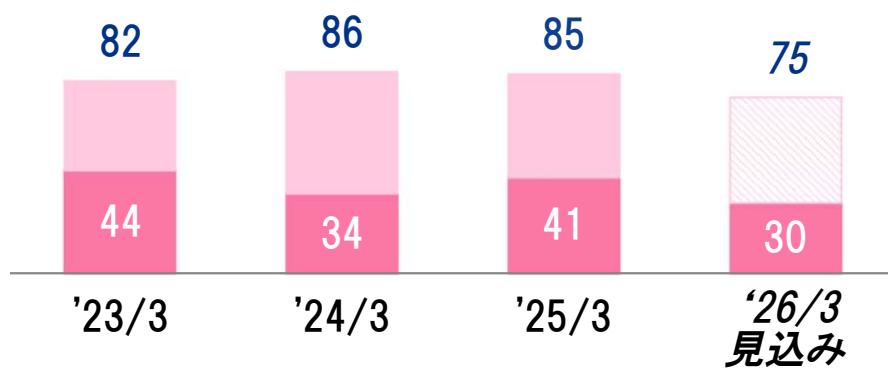
第2四半期のポイント

- 火災対策用集塵システム、および工場内作業環境の改善提案が堅調に推移し増収。
- 物量確保による販管费率の抑制や原価低減等により増益。
- 海外向け大型集塵機の成約、汎用集塵機の増額、メンテナンスの堅調な推移等により受注増。

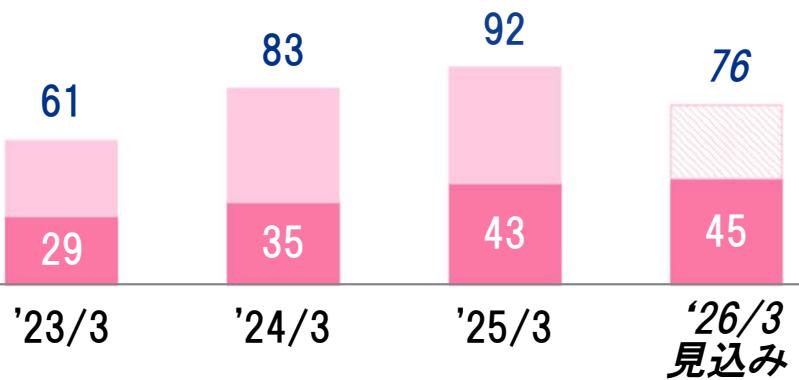
【搬送事業】

受注高(単位:億円)

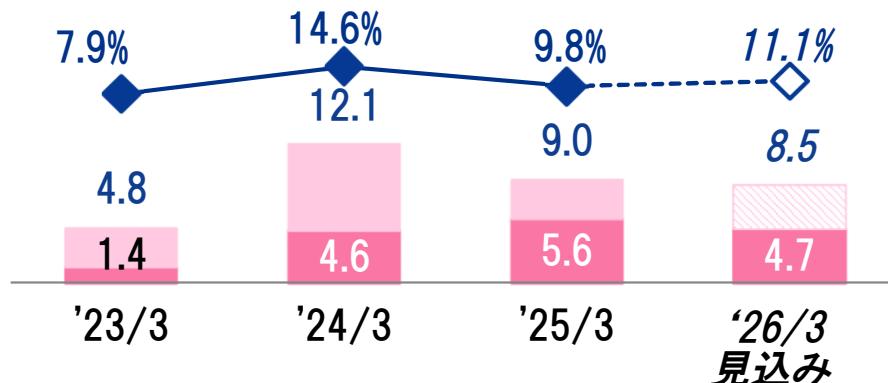
■ 上期 ■ 通期



売上高(単位:億円)



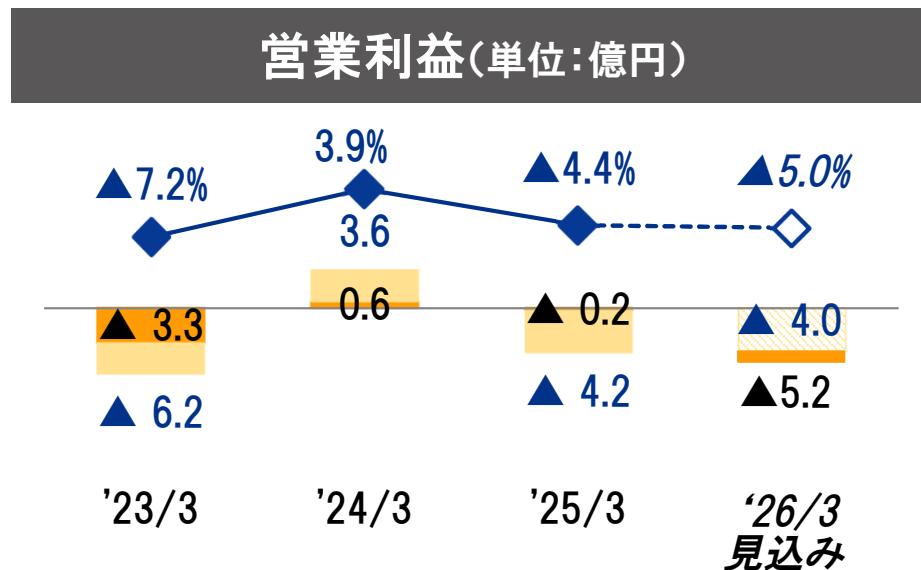
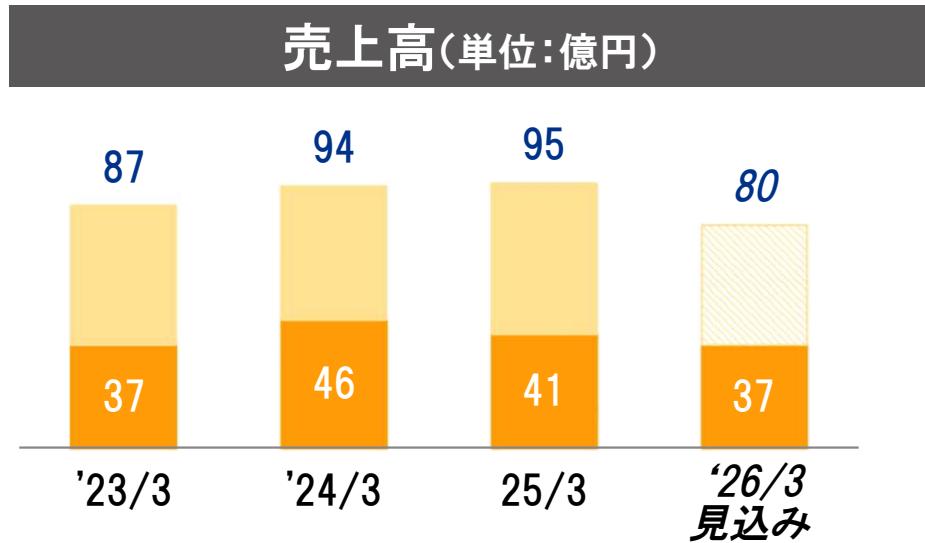
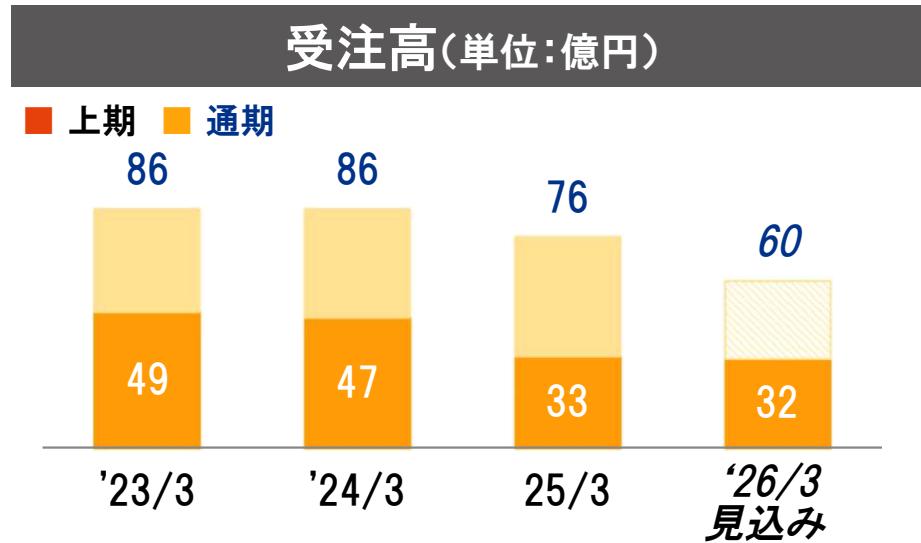
営業利益(単位:億円)



第2四半期のポイント

- リフト・コンベヤの通販需要など、引き続き物流業界・倉庫関連の需要が堅調に推移することにより増収。
- 営業利益は、材料費高止まり等の影響により微減。

【特機事業】



第2四半期のポイント

- EV市場の失速により、二次電池向け商品であるロールプレス、サーボシリンダの減少に加え、部品販売の減少により減収。受注も減少。
- 物量減に伴う、原価率上昇により営業利益減少。

2026年3月期 第2四半期 経営成績ハイライト

売上高増加も、欧州の景気低迷による消耗品の販売減少、
機械案件の原価率上昇等により、利益が圧迫し、
上期計画未達に対し下方修正

■ 売上高	857億円	(対前年同期比	26.1%増)
■ 営業利益	14億円	(対前年同期比	125.9%増)
■ 経常利益	7億円	(対前年同期比	64.5%増)
■ 当期利益	0.7億円	(前年同期は	△2.8億円)
■ 受注高	747億円	(対前年同期比	4.9%減)
■ 受注残高	554億円	(対前年同期比	22.1%減)

2026年3月期 連結業績見通し

- 売上高・EBITDAは拡大する一方、のれん償却の影響で営業利益は微増にとどまる。
- Elastikos社はじめ、下半期での業績伸長を見込み、期初発表した計画を据置き。
- 受注高は大型案件の減少により、前年比で減少の見通し。

(単位:億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し	前年比 (%)
受注高	1,560	1,450	▲7.1
売上高	1,502	1,600	6.5
営業利益	30	48	59.7
営業利益率	2.0%	3.0%	1.0
経常利益	32	50	55.0
親会社株主に 帰属する当期純利益	27	30	8.8
EBITDA	98	118	20.6
EBITDAマージン	6.5%	7.4%	0.9

目次

01

第2四半期の概況と通期の見通し

02

成長戦略

03

投資・配当情報



「『共創』

～新しい価値を求めて～」

地球とともに、仲間とともに

中期経営計画

「『共創』
～新しい価値を求めて～」
地球とともに、仲間とともに

Co-creation
for New Value
Together with the earth, together with our "Nakama"
2024.4 → 2027.3

基本方針

お客様に選ばれ続ける

新規お客様数
+3,900社

1年目
⇒ +1,241社

① 新しい時代に向けた成長

部品カバー率
5ポイントアップ
1年目
⇒ +50.7%up

② 競争力強化に向けたコスト削減と付加価値向上

売上総利益率
3ポイントアップ
1年目
⇒ +0.5ptup

③ ITやAIの活用による業務効率の向上

一人あたり付加価値額
10%アップ
1年目
⇒ +2.4%up

売上高EBITDA比率 8%以上 ⇒1年目6.5%

アフターサービスの強化

3魅一体のビジネスモデルを展開し、継続的な収益確保を実現しています。お客さま数が増加することにより、サービス提供機会の創出や部品・消耗品の売上拡大などに繋がり、強固な事業基盤を確立することで、事業の安定性を確保しています。

ビジネスモデル



重点目標

お客さま数の増加

- ・サービス増加
- ・部品・消耗品の販売拡大
- ・設備契約増加

強固な事業基盤 (安定性確保)

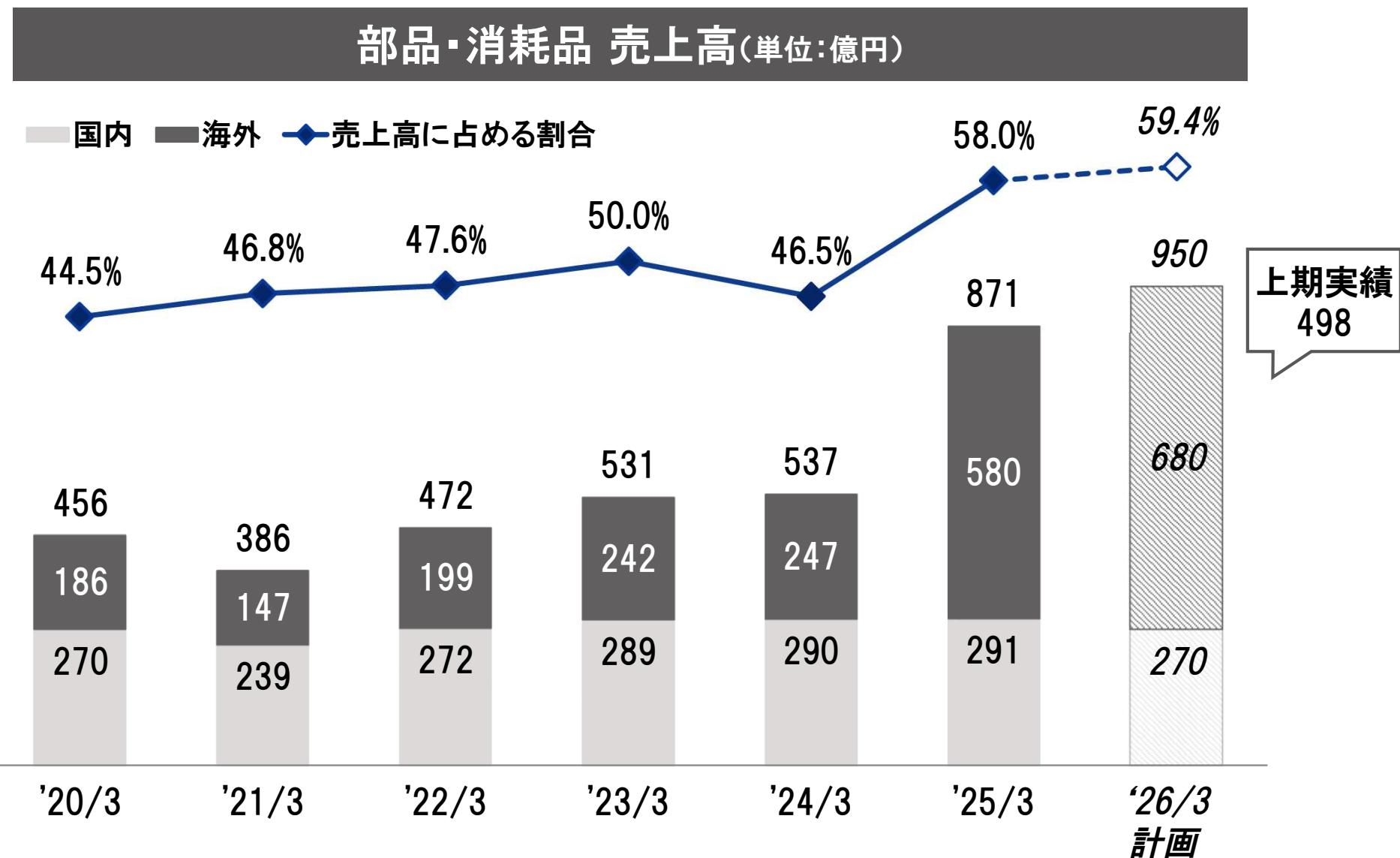
アフターサービスの強化

世界23ヶ国・地域60拠点のグローバルネットワーク

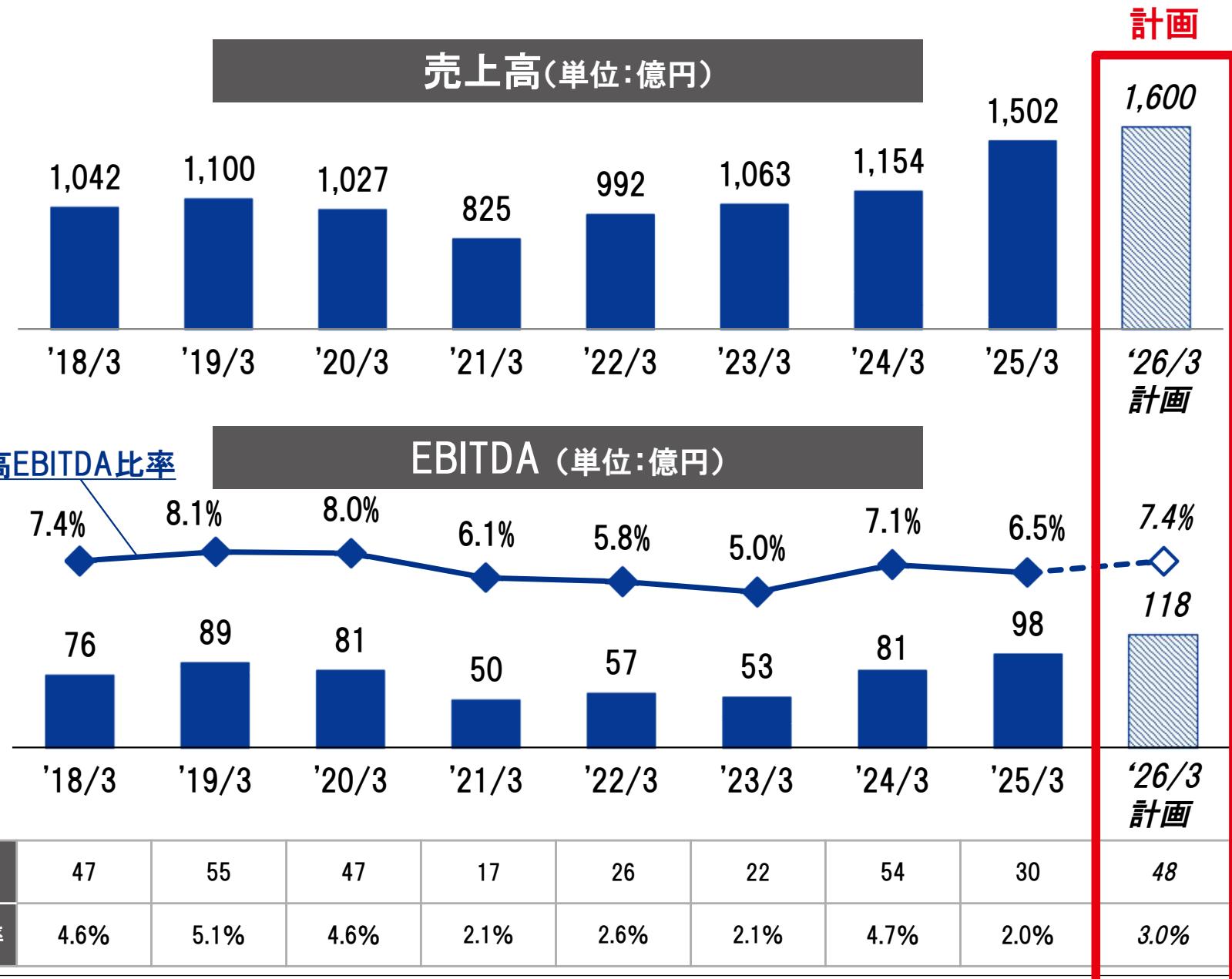


お客様の近くに進出し、安定供給を図る

アフターサービスの強化



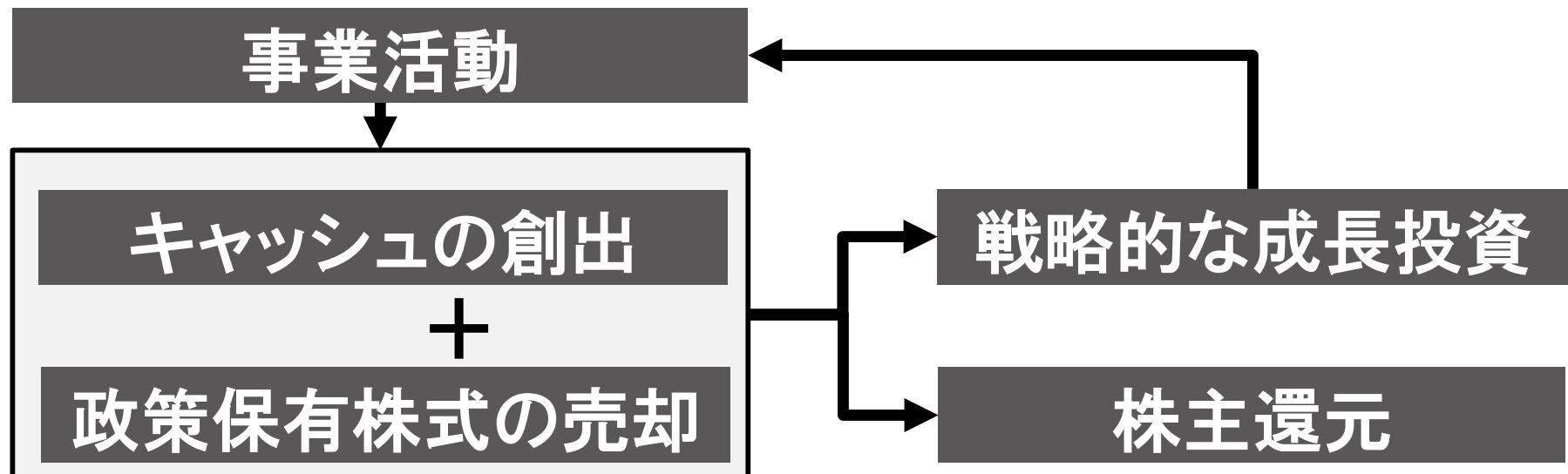
2026年3月期 計画



財務戦略

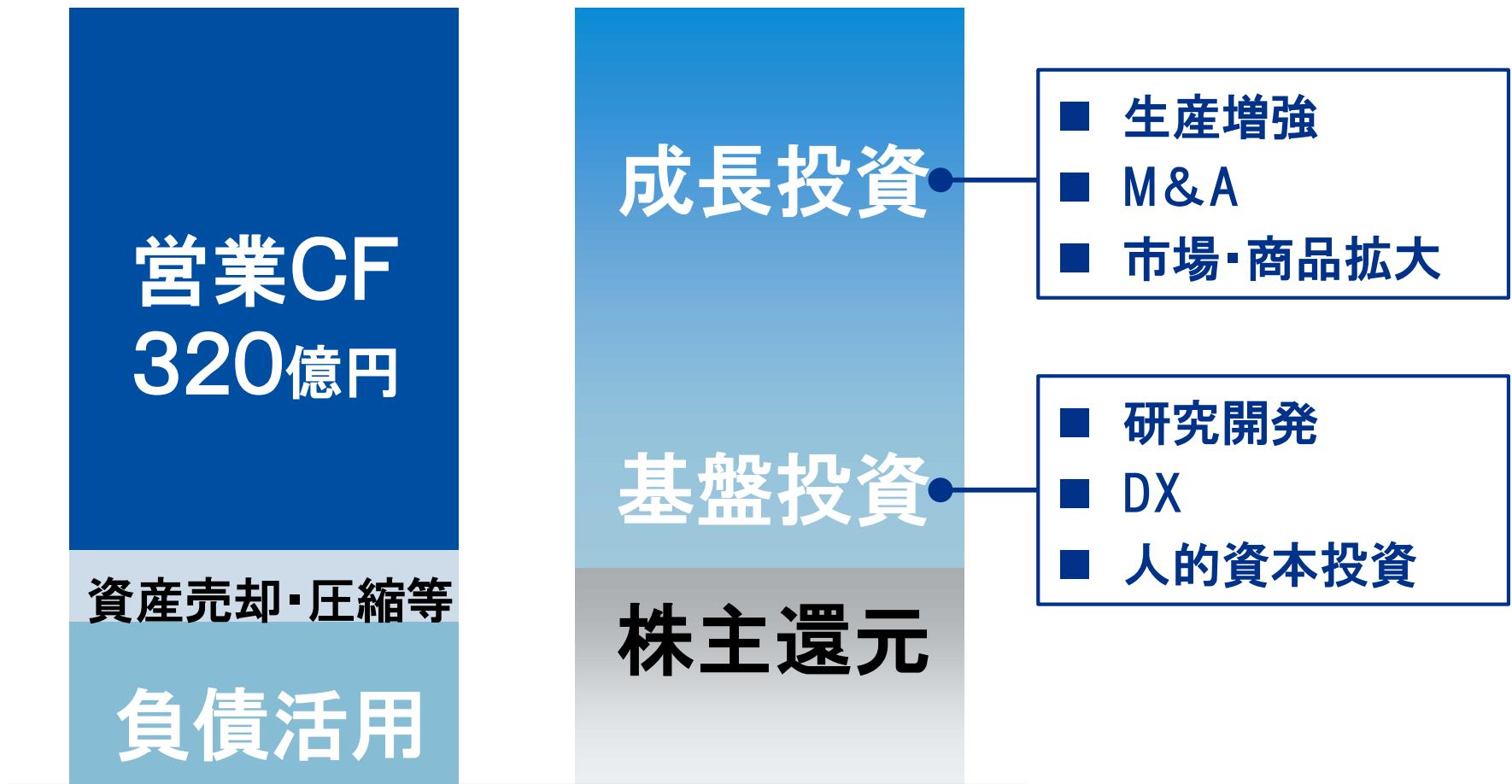
基本方針

- M&A、設備投資、研究開発、人的資本投資の戦略的な成長投資を優先的に展開
- 長期的・安定的な株主還元を継続



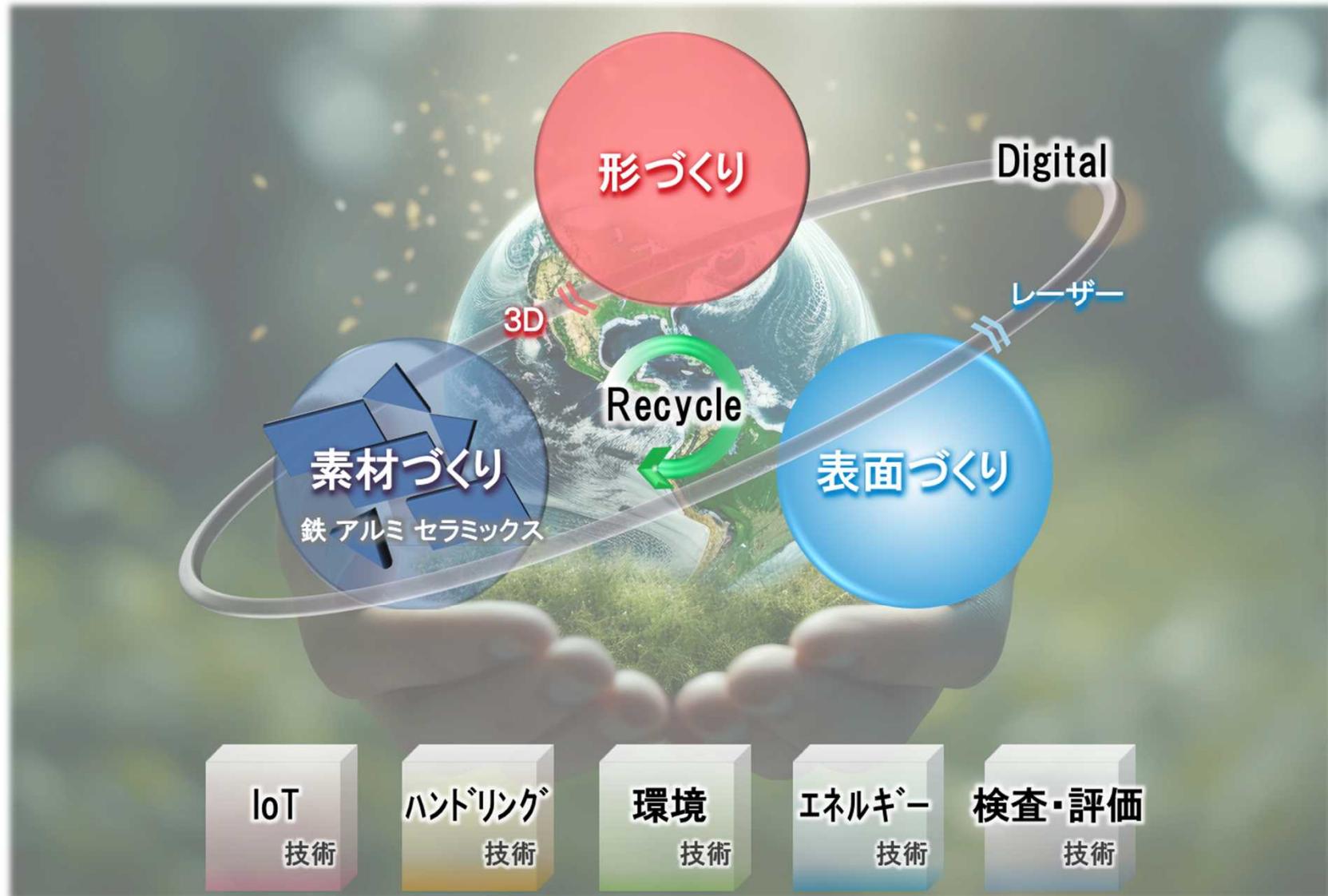
財務戦略

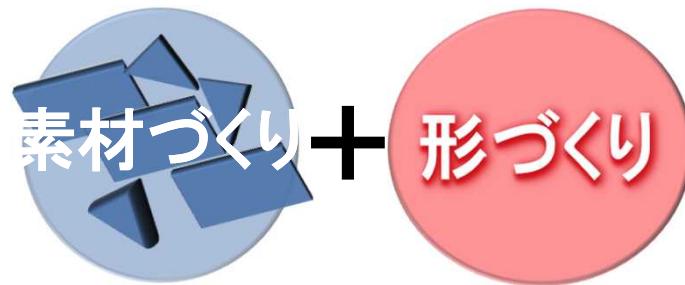
キャッシュアロケーション(中期経営計画2024～2026年度)



成長投資

事業領域「素材に形をいのちを」の展開





「素材づくり」「形づくり」の変遷 鑄物づくりから多様な素材によるものづくりへ

従来【既存】

これから【新規】

鑄物づくり

鉄を用いた形づくり



3Dプリンタ

多様な素材を用いた形づくり



砂



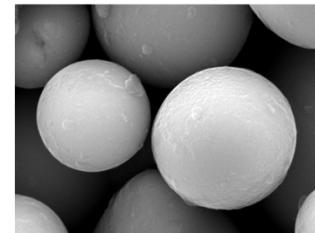
鉄・アルミ



セラミックス

機能性粉末

ミクロンレベルの金属粉末
→積層化、高充填化



ロールプレス

フィルム上に無重力
粉を落とす技術



形づくり

新東工業グループのセラミック事業

大型・高精度な構造部品の製造や、
3Dプリンタを活用した製品開発へと事業を拡大

研磨材

構造セラミックス

機能性セラミックス



1993

新東Vセラックス
株式会社を設立



2000

精密加工に特化した
セラミックス加工事業を開始

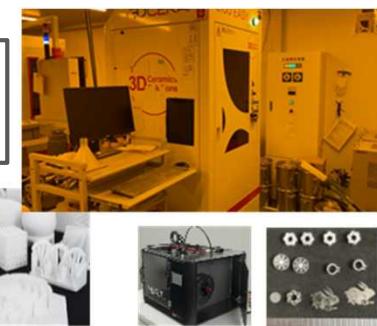


2005



2018

積層造形
(AM)



2025

Bosch Advanced Ceramics
新東工業グループ傘下へ

3DCeram-Sinto(仮)

長年の経験と深い専門知識を強みに、
セラミック3Dプリンティング分野を牽引するパイオニア

形づくり

3Dプリンティング技術による セラミック事業の成長分野への展開

半導体・電子部品分野

高硬度と耐摩耗性により
長寿命化に貢献



半導体製造装置用吸着テーブル

■ 市場規模 半導体市場
2022年 約3.2兆円

2035年 約**7.7**兆円

航空・宇宙分野

優れた耐久性を実現



NASA共同開発パートナーに認定

■ 市場規模 航空市場※
2016年 約2,220億ton-km

2036年 約**4,960**億ton-km

※航空貨物需要(RTK)

医療分野

小型品の複雑形状を
精密に加工



無呼吸症候群の治療器具

■ 市場規模 医療・介護市場
2025年 約22兆円

2038年 約**30**兆円

形づくり

独 Bosch Advanced Ceramicsを買収

3Dプリンティングによるセラミック部品の受託製造を展開



BOSCH

Advanced Ceramics



会社名 Bosch Advanced Ceramics

設立年 2016年

所在地 ドイツ

概要 ドイツ ロバート・ボッシュ社の完全子会社Bosch Business Innovations GmbH社発のスタートアップユニット

形づくり

本買収を通じた成長戦略

- セラミック3Dプリンティングのグローバル展開を加速
- 日本・欧州・米国で社名を統一した中核となる製造拠点を置く



表面づくり

「表面づくり」の変遷

多様な工法により、表面の機能性づくりを展開

従来【既存】

不純物
落とし

バリ
取り

研磨



表面
改質



微細
加工



これから【新規】

接合



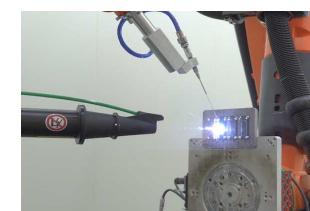
表面の
機能性
づくり

ブラスト工法

投射材

+

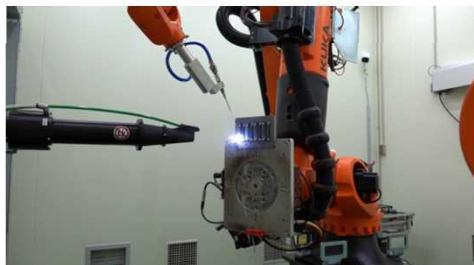
レーザー工法



レーザー工法

- ピンポイント、デジタル加工
- 廃棄物を出さない

レーザーピーニング



レーザークリーニング



成長が見込まれる
レーザー加工市場へ展開

世界のレーザー加工装置市場規模

6,000億ドル

3,000億ドル



2024

2025

2032

レーザーソリューションラボの開設

レーザー技術による「魅力ある表面づくり」を市場に発信

概要

設置面積 40m×6m

保有設備

- レーザー加工機:5基
- レーザー溶接機:1基

アプリケーション

- レーザークリーニング
- レーザーテクスチャリング 他



コンセプト

お客様との 共創の場

課題に応じた
最適なプロセスを提案

受託加工

魅力ある表面を
実際に体験

アジアハブ機能

Laserax社(カナダ)との
協業において、アジア
展開を支える中心拠点

Elastikos社との協業によるシナジー効果発揮

2024年4月に買収

Elastikos社

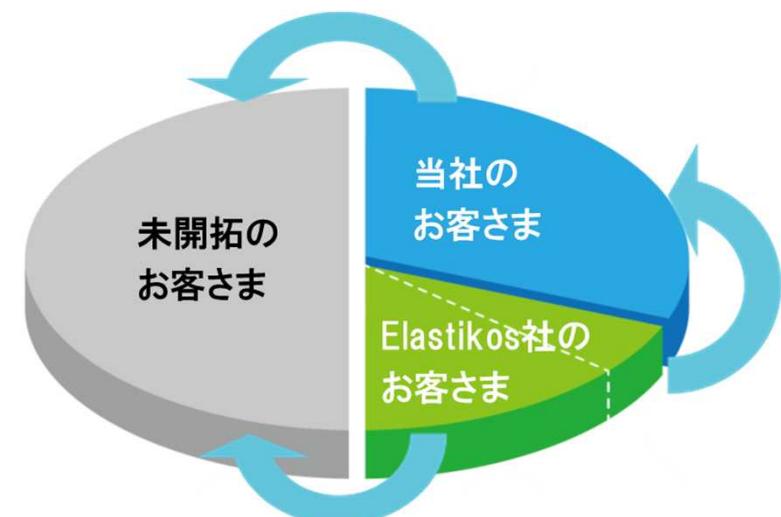
欧洲を中心とした
グローバルな販売チャネル

新東工業

充実したお客さまサポート

各社の強みを活かしてグローバル展開を強化

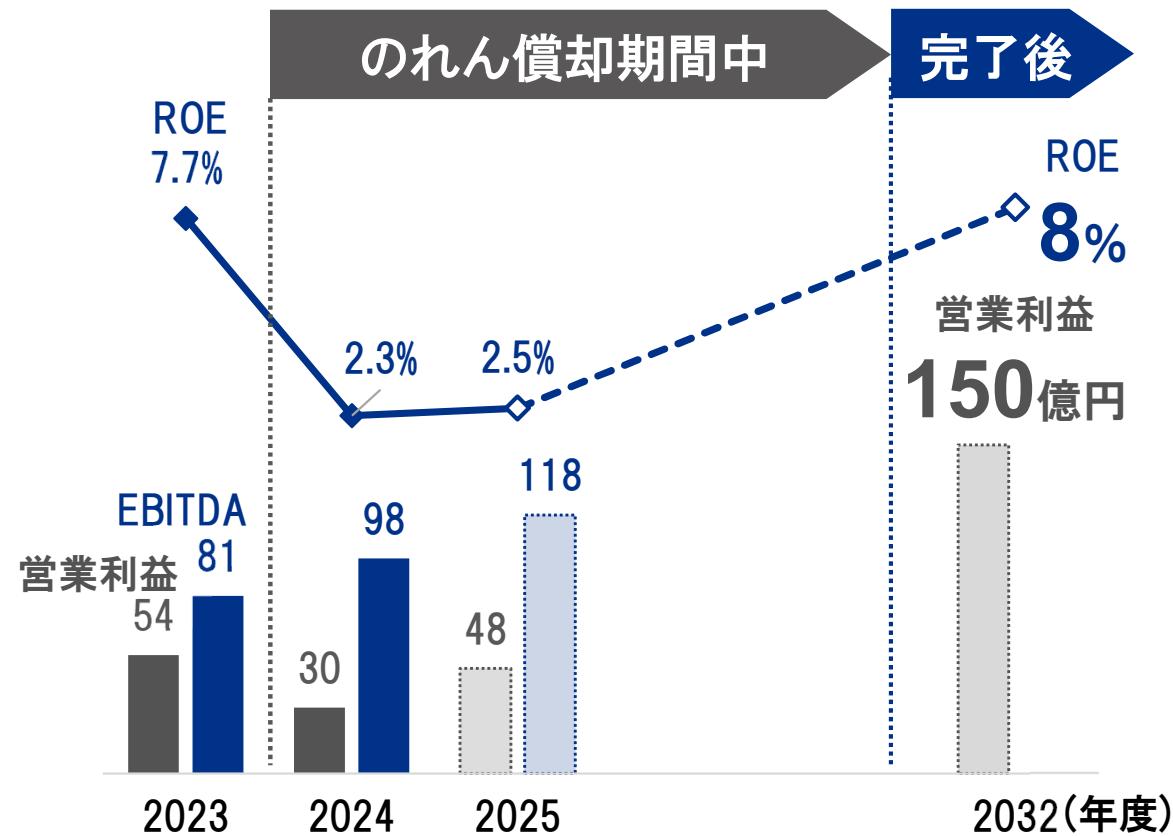
- 各社の製品を、それぞれのお客様に提案
- 各社の技術・ノウハウを活用し、
ピーニングおよび精密加工分野に進出
- 日・欧・米で連携し技術センターを設立し、
お客さまへのタイムリーな対応を実現。



目指す姿

のれん償却完了後

営業利益150億円、ROE8%以上を目指す



戦略

Elastikos社

- 欧州経済の回復
- 拠点の立て直し(南米・北米 他)

新東工業

- 既存事業の高度化
- 成長分野への投資
(レーザー、セラミック事業)
- サポート売上の強化

共通

- 消耗品事業の規模拡大による収益性向上

目次

01

第2四半期の概況と通期の見通し

02

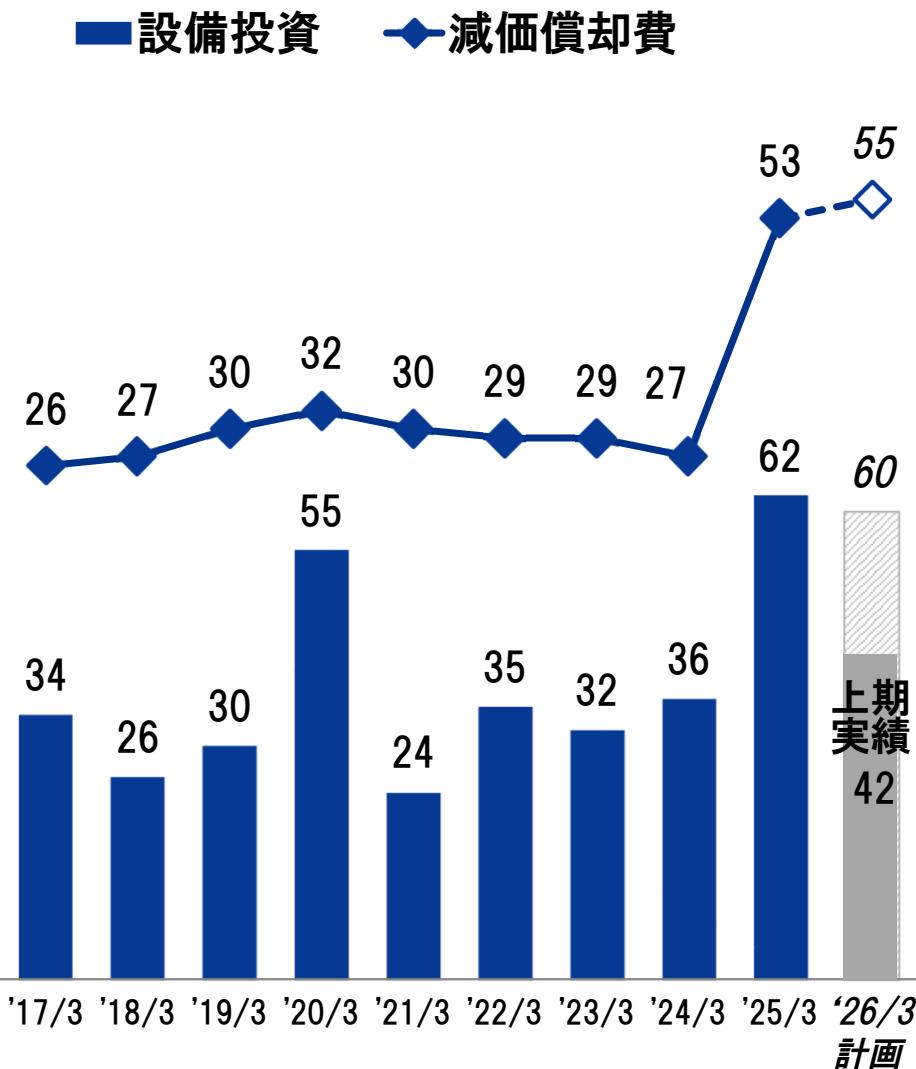
成長戦略

03

投資・配当情報

設備投資と減価償却

設備投資・減価償却費(単位:億円)



'26/3主な設備投資計画

内容	金額 (億円)
日本(新東工業) ・ レーザー装置関連 2 ・ 3Dプリンター関連 1 ・ 技術棟建築 7	25
日本(国内グループ会社) ・ セラミック機械加工設備他 1	1
欧州、北米他 ・ ピーニング装置 2	2

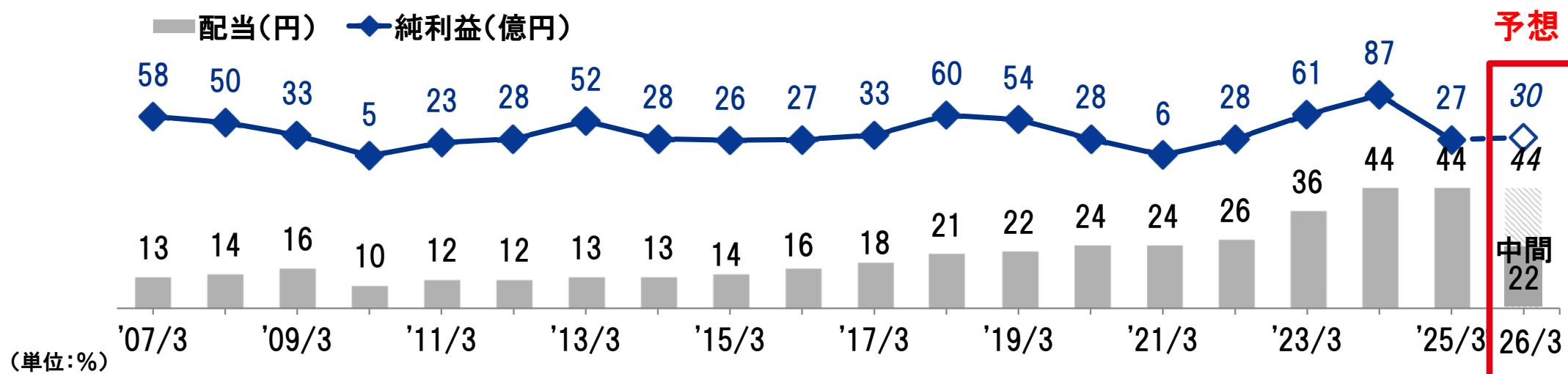
株主還元方針

■ 基本方針: 安定配当 + 業績連動

年間配当金 **44円**
('26/3予想)

DOE **2%以上**

1株当たりの配当金と当期純利益



配当性向	12.1	15.2	26.2	95.7	28.2	22.9	13.4	25.0	28.8	31.5	28.6	18.6	21.7	44.5	211.3	48.9	30.6	26.6	84.0	77.3
ROE	9.4	7.8	5.3	0.9	3.6	4.4	7.5	3.6	3.1	3.1	3.9	6.6	5.6	3.0	0.6	2.8	5.9	7.7	2.3	2.5
DOE	1.33	1.32	1.42	0.87	1.03	1.00	1.03	0.98	1.03	1.13	1.25	1.39	1.38	1.39	1.44	1.55	2.05	2.37	2.31	2.32



注意事項：

本プレゼンテーションおよび質疑応答の回答には、将来に関する見通し、期待、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種商品の開発・生産能力、関係会社の業績およびその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーションおよび質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、弊社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載は発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、弊社の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。